

(別紙 4)

評価基準

項 目	基 準	観 点	配 点
(企画内容)			(7 0)
研修内容	事業の目的に沿った研修内容が提示されているか。	・ 交流を通して異文化理解が深まる内容か。 ・ 多文化共生の態度を身につけることができる内容か。 ・ 国際的な課題について学びが深まる内容か。 ・ 生徒が自分の意見について考え発信することができる内容か。	5 0
緊急時の対応	研修参加者が病気、けが、事故などにあった場合、適切に対応できるか。	・ 危機管理体制等は確保されているか。 ・ ケースに応じた具体的な対応策が示されているか。	1 0
健康保持	研修参加者が過度の負担なく参加できる日程となっているか。	・ 休憩時間等は、適切に設定されているか。 ・ 過度な運動的活動等がないか。	1 0
(実施体制)			(3 0)
経 費	研修費、教材費、講師等の経費が妥当である。	・ 生徒の学習活動の量と質が確保されたうえで、安価であるか。 ・ 積算内訳に不自然な点がないか。 (見積書により確認)	1 5
実施体制	業務遂行可能な人員が確保されているか。	・ 企画、講師の手配、当日の運営等のための十分な体制及び人員が確保されているか。 ・ 役割分担が明確となっており、業務遂行に支障がないか。	1 0
実 績	過去の受注実績は十分か。	・ ある程度の規模以上の中学生プログラム運営の実績があるか。(提出される「受託実績調書」により確認)	5
合 計			1 0 0